

## 第29回国立国会図書館関西館資料展示を開催します

### 「結構毛だらけネコ本だらけ」(2/17-3/15)

新石器時代から人と生活圏を共にしてきたネコ。神聖な存在として信仰の対象になる一方で、狡猾・不気味といった理由から虐げられるなど、時代や文化によってもネコへの対し方は様々でした。近年はイヌの飼育頭数を超え、ペットブームにより更にその数が増えています。

第29回関西館資料展示では、ネコの諸相を「科学・生物学」、「ネコと人との文化・社会的な関わり」、「表現・創作物のモチーフ」の観点から、当館所蔵資料を用いてご紹介します。

2022年2月という、ニャン(2) 続きのこの時に、ネコ好きもそうでない人も、ネコを知りこれからの共生を考えてみませんか。古今東西、ネコ百様をご覧ニャれ～!



#### ○概要

開催期間：令和4年2月17日(木)～3月15日(火) (日曜・祝日は休館)

開催時間：午前9時30分～午後6時

展示資料数：約50点

会場：国立国会図書館関西館 閲覧室(地下1階)

(〒619-0287 京都府相楽郡精華町精華台8-1-3)

入場：無料・年齢制限なし(18歳未満の方は所定の手続の上でご覧いただけます。)

問合せ先：国立国会図書館関西館 資料案内(電話：0774-98-1341)

URL：[https://www.ndl.go.jp/jp/event/exhibitions/kansai\\_202202.html](https://www.ndl.go.jp/jp/event/exhibitions/kansai_202202.html)

※ 開催予定が変更になる場合があります。ご来館前には、最新情報を上記ページなどでご確認ください。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、入館時の検温・マスクの着用・手指消毒にご協力ください。

○展示資料例

『<sup>きょうさいがだん</sup>暁斎画談 外篇 卷之上』<sup>かわなべきょうさい</sup>河鍋暁斎 画,<sup>うりゅう</sup>瓜生  
<sup>まさやす</sup>政和 編. 植竹新[ほか], 明 20【11-111】

河鍋暁斎の生立ちを、戯作者<sup>ばいていきん</sup>梅亭金鷲として知られる瓜生政和の文と暁斎の絵で綴ったもの。暁斎（幼名周三郎）は、数え七歳の時に浮世絵師である一勇斎<sup>いちゆうさいくによし</sup>國芳（歌川<sup>うたがわ</sup>國芳）に入門していました。ネコ好きとして知られる國芳は、当時の様子を描く暁斎の絵においてもネコに纏わりつかれています。その横で絵を教わっている子どもが暁斎です。



『<sup>ひやくみょうがふ</sup>百猫画譜』<sup>かながきるぶん</sup>仮名垣魯文 編,<sup>りゅうさいひろしげ</sup>立斎広重 画. 和同  
 開珍社, 明 11.3【209-312】

仮名垣魯文の発刊した雑誌『<sup>ろぶんちんぽう</sup>魯文珍報』からネコの特集号を単行本としたものです。挿絵のネコは三代<sup>うたがわ</sup>歌川<sup>ひろしげ</sup>広重によって描かれたもので多様な動きのあるネコを見ることができます。



\*【 】は当館請求記号

○Twitter との連動企画（ハッシュタグ「#国会図書館ネコ展」）

- ・ネコを探しています@デジコレ：  
「国立国会図書館デジタルコレクション」からネコの画像を探してツイート
- ・GIF になったネコ：  
当館が用意したネコの画像を使い「GIF アニメーション」（複数の異なる静止画をパラパラ漫画のように見せる動画）を作成してツイート

○撮影について

開催期間中（土曜日、日曜日、祝日を除く。）は午前 9 時から午後 7 時まで撮影が可能です。ただし、来場者がいる午前 9 時 30 分から午後 6 時の間は、来場者の撮影、周囲に聞こえるような音声を伴う撮影、大人数による撮影等をご遠慮いただく場合があります。なお、照明器具を使用する撮影はできません。撮影をご希望の場合は、来館前にご連絡ください。

## 関連講演会「もっと知りたい！ネコごころ」 (オンライン開催 2/26 14:00 から)

資料展示の関連イベントとして、高木佐保氏（麻布大学）をお招きし、近年明らかになってきたネコのこころの特性や、解明のカギとなった実験手法などをお話しいたします。

### ○概要

日 時：令和4年2月26日（土）午後2時～午後4時

会 場：オンライン開催（Webex Events を使用）

定 員：100名（先着順、参加費無料）

申込方法：Web フォーム

U R L： [https://www.ndl.go.jp/jp/event/events/kansai\\_20220226.html](https://www.ndl.go.jp/jp/event/events/kansai_20220226.html)

### ○講師紹介

麻布大学特別研究員 <sup>たかぎ さほ</sup> 高木 佐保 氏

2018年に京都大学大学院文学研究科行動文化学専攻心理学専修博士課程修了、博士（文学）。ネコの認知について研究し、2017（平成29）年度京都大学総長賞を受賞。麻布大学で日本学術振興会特別研究員（SPD）を務める。専修大学非常勤講師。著書に、『知りたい！ネコごころ』（2020 岩波書店）、『ネコがゴロゴロよるこぼCDブック』（2020 サンマーク出版）がある。



### ○講師から

現在、ヒトに最も多く飼育されている動物、ネコ。ヒトに身近な生き物にも関わらず、そのこころの中は近年まで神秘のベールに包まれていました。その理由は、ネコが"ネコ"だから。従来まで用いられてきた実験手法が通用しなかったからです。近年、実験手法が工夫されてネコのこころの秘密が徐々に明らかになってきました。当日はネコの実験系を立ち上げる際の苦労話、わかってきたネコのこころの特性をお話します。

### ○資料展示及び関連講演会 問合せ先

展示内容について：国立国会図書館関西館 資料展示班 佐々木（電話：0774-98-1257）

取材申込み：国立国会図書館関西館 総務課総務係（電話：0774-98-1225）

（※）当資料に掲載した画像は当展示会の広報の目的でお渡しすることができます。

画像掲載の際には書誌情報及び当館所蔵であることを明記してください。